

令和2年度 小規模多機能型居宅介護いこいの里 事業報告

【年間稼働率】 令和2年度 年間稼働率目標 96%  
令和2年度 年間稼働率実績 97.4%

|        |      |
|--------|------|
| R2年 4月 | 99%  |
| 5月     | 97%  |
| 6月     | 100% |
| 7月     | 100% |
| 8月     | 100% |
| 9月     | 100% |
| 10月    | 98%  |
| 11月    | 97%  |
| 12月    | 93%  |
| R3年 1月 | 90%  |
| 2月     | 95%  |
| 3月     | 100% |

【通い、宿泊の定員について】

サテライトの宿泊需要が増えてきているため、本体の固定連泊は4人程度までとして臨時で泊まれる枠を確保していくようにする。平均6～8人の宿泊で稼働していく。通い定員は15人前後で対応していくことで利用者の追加利用に対応する枠を確保していく。  
(すでに満員だと新規利用者が取りにくい)

連泊固定は5名で稼働。目標である平均6～8名程度の宿泊体制は実施できた。通い定員も調整することで、職員配置はR3年度も1日64時間配置から56時間配置で対応できる予定。

【地域活動の参加とサービスの充実化】

地域活動への参加へ特に力を入れていく。  
利用者が住む地域の祭りなどのイベントの参加等。  
レクリエーション等に力を入れていきQOLの向上にも努めていく。  
地域の活動は新型コロナウイルスの影響によりあまり参加ができなかった。  
レクリエーションについても外出活動の制限などからややマンネリ化していた。  
室内で3密を防ぎながら出来ることを増やしていきたい。

### 【サテライトとの協力体制】

訪問、宿泊においては本体職員もサービス対象となる為、情報共有を図りながらサービス向上に努めていく。

電子記録だけではなく、その日のリーダーに状態などを直接伝えることで、しっかりと情報共有が出来ていた。サテライトの宿泊者は3名～4名程度。

### 【営業活動について】

包括支援センターや病院を中心に事業所営業に回るようにする。

サテライト（北方）、津島かがやきと協力し、問い合わせの利用者を基本的に断らないように支援する。事業所3か所のエリアを決め、効率よく支援できる体制をつくる。

グループ内の施設入居にも協力して対応していく。

上半期の問い合わせは多くあったが、年が明けてからは減少し、また対応が難しい問い合わせが集中し、稼働が下がることがサテライトともに起きてしまった。

急遽、死去、入院が重なり厳しい状況となったが昭友会ケアプランセンターに助けを求めた。

### 【退職しない職場づくり】

パワーハラスメント、セクシャルハラスメントのない職場を目指し、働きやすい職場環境の構築とスキルの高い職員の育成に努める。全員が同じケアが行えるように各マニュアル、ルール決りを統一し安定した職場環境を構築する。

マニュアルの作成、更新は随時実施。新人職員に対し、最初からマニュアル提示することで足並みを揃えて教える事が出来ている。